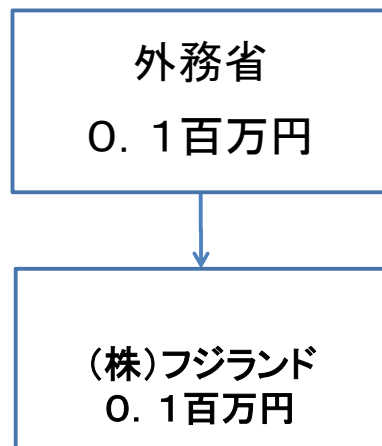


平成23年行政事業レビューシート(外務省)

事業名	安全対策連絡協議会	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成4年度開始	担当課室	海外邦人安全課	課長 一方井 克哉				
会計区分	一般会計	施策名	IV-2 海外邦人の安全確保に向けた取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第9項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海外渡航者の増加に伴い、邦人が巻き込まれる事件・事故が増加しており、安全対策が急務である。国内では民間企業等との間で海外安全官民協力会議を開催し、海外では在留邦人の代表者等との間で安全対策連絡協議会を開催し、官民双方の情報共有等を行い、今後の安全対策向上に向けた取組の検討や各種対策を講じることで、海外での邦人の安全を高める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本省においては海外進出企業、海外安全関連団体等との情報共有等を実施するため海外安全官民協力会議を開催する。そのために必要な会議用飲料水等の経費及び講師への謝礼を計上。また、在外公館において、在留邦人を対象とした安全対策連絡協議会及び現地治安関係者講演会を開催する。そのために必要な会場借料費及び講師として招く現地治安関係者等への謝礼を計上。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	0.5	0.3	0.5	0.3	0.3	
	執行額		0.3	0.1	0.2			
	執行率(%)		60	33	40			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	海外での安全対策等に関する官民双方向での情報共有を行うための会議を本省においては少なくとも5回、在外においては四半期に1回開催する。		成果実績	人	本省:147 在外:7,232	本省:174 在外:8,752	本省:146 在外:5,424	本省:146 在外:5,440
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本省での海外安全官民協力会議については、本会合1回幹事会4回の計5回、在外については計339回実施		活動実績 (当初見込み)	回	本省:5 在外:452	本省:5 在外:547	本省:5 在外:339	本省:5 在外:340
					()	()	()	
単位当たりコスト	●本省 4,808(円/1回) ●在外 18,293(円/1回)		算出根拠	●本省 24,040円÷5回＝4,808円 ●在外 54,880円÷3回＝18,293円 (※会場借料、講師諸謝金等の経費りん請があったのは3公館(3回)分のみ。)				
平成23 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	会議費	43	43					
	講師謝金(国内)	14	14					
	会場借料	168	168					
	講師謝金(在外)	53	53					
計	278	278						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	海外における在留邦人を対象とした安全対策連絡協議会及び現地治安関係者講演会については、出来る限り大使館事務所等で実施するなど、会場経費や講師諸謝金が必要にならないように工夫を求めてきてきた結果、経費の支出を抑えることができた。今後も引き続き同様の工夫を各在外公館へ求め、経費の節約に努めつつ、海外における邦人の安全対策に有益な議論・情報共有を行っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 フジランド	飲料水等の提供	0.1	—	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					